

新しい軍隊に剣の達人はいらない！
武士のリストラとそれぞれの道。

刀から大砲へ。時代に取り残された武士

明治維新が進む中、政府は「徴兵令」で国民からの"血税"で軍隊を作る事を決めた。もう剣の達人である武士に給料を払わないと決めただ。 (税なら無料だもんね) これを秩禄処分という。



リストラされた武士の生きる道を探した西郷隆盛

そんな武士にもう一度生きる道を作ろうとした人がいた。薩摩の西郷隆盛だ。西郷は武士を使って韓国を攻めよう！という征韓論を主張する。しかし木戸、大久保らに反対され、西郷は板垣退助らと共に明治政府を辞めてしまう。



言論で政府と対決した板垣退助

みん せん ぎ いん せつ りつ けんぼくしよ

1874年民撰議院設立の建白書

民撰議院 (=国会) を作れ！自由民権運動が始まる！



武力で政府と対決した西郷

1877年西南戦争

日本各地で士族(武士)の反乱が続く中、ついに西郷も兵を挙げる。しかし西郷の力でも政府にはかなわなかった。西郷は地元鹿児島で生涯を終える。

